

3月1日にチャレンジゼミナール成果報告会を開催しました



一般科目の「チャレンジゼミナール」は、平成21年度からスタートした3年生の選択科目です。全教員が各自の専門性を活かして、少人数のゼミ形式で、3年間の復習と応用、あるいは、物事を深く学ぶ楽しさ、研究することの楽しさ等を教え、プレゼンテーションや論文指導等も行います。

午前中の報告会は39チームが8会場に分かれて、それぞれの研究を15分間発表し、その後討論しあいました。その中で優秀な発表8組が選ばれました。どれも非常にレベルの高い研究プレゼンテーションでした。午後の部は、午前に選ばれた8チームが5分間プレゼンテーションを行いました。

審査結果は以下の通りです。

学生会長賞：「淡水生プラナリアのサンクチュアリ（聖域）」

小野航，佐藤和紀，春名亮，藤田治希<前澤ゼミ>

学生副会長賞：「なぜ高校野球は坊主なのか？」

尾原光，坂本竜也，下山貴大，瀬在丸朋弘，山田優也<内倉ゼミ>

優等賞（6件）

- ・「なぜしない、性教育？」和田望<角谷ゼミ>
- ・「陸生プラナリアの生存戦略」劔持遥太郎，岩本直也，鈴木凱斗，田中秀弥<前澤ゼミ>
- ・「歴史の見方～視点や立場で変わる～」片山竣介<角谷ゼミ>
- ・「Gnuplotによる熱伝導方程式のシミュレーション」大森健二郎，直原昇吾<宮崎ゼミ>
- ・「教育格差？貧困の悪循環？」赤堀ひな<角谷ゼミ>
- ・「じゃがいもで独楽を作る」垣内祐樹，杉本篤俊，三宅優哉，伊藤大樹<佐藤ゼミ>